

式辞

大地の万物に精気みなぎり、春の光あふれる今日の佳き日に、多数のご来賓並びに、保護者の皆様のご臨席を賜り、愛媛県立八幡浜高等学校 令和二年度の入学式が、かくも厳肅に挙行できますことは、本校にとりまして、この上ない喜びであり、心より御礼申し上げます。

ただ今入学を許可いたしました、百八十五名の新入生の皆さん、入学おめでとう。教職員・在校生一同、皆さんの入学を心より歓迎します。さて、本校は、一九〇一年、明治三四年に愛媛県下初の商業学校として開校して以来、今年で百二十周年目を迎える県下有数の伝統校であります。

同窓会の皆様や地域社会の方々など、多くの人たちの善意と、熱意に支えられながら、今日まで発展して参りました。今年度は多くの記念行事を実施することになっていきます。新入生の皆さんも百二十年の重みを感じつつ、本校の一員として誇りある足跡を印していきましょう。

このような本校での第一歩を踏み出した今、高校生活のスタートにあたり、二つのことをお願いしたいと思います。一つは、自分自身をしっかりと見つめ、皆さんがまだ気づいていない自分や才能、言い換えれば「新しい自分」を発掘し、それを磨き、輝けるものにしてほしい、

という気持ちを持って、勉強、部活動はもちろんのこと、時々つぶつかるであろう困難なことにも、勇気を出して立ち向かってください。

もう一つは、「ありがとう」や「おかげさまで」という思いやりある優しい言葉を素直に言える生徒になってほしいということです。

ということですが。

「新しい自分」を発掘するには、自分は今、何をすべきか、将来何をしたいか、何を生きがいとするのかを、じっくりと見極め、根気強く辛抱強くひたむきに努力していく必要があります。 「新しい自分」を発掘するための日々である、人は互いに支え合い、励まし合いながらでないと生きてゆくことはできません。今、皆さんがここに、こうしているのは、保護者の方はもちろん、隣にいる友人、これから出会う先輩など、多くの人の支えがあつてのことです。このことは、これからの人生においても同じです。

二、三年生及び私たち教職員とともに、伝統と誇りの持つる学校作りに貢献してくれることを期待し、三年後、輝く皆さんがここから社会に巣立つことを願ってやみません。おわりになりましたが、保護者の皆様本日はお子様のご入学誠におめでとうございます。

私ども、教職員一同は、本日よりお子様の教育に、誠意と熱意を持って、全力で取り組む覚悟でございます。保護者の皆様におかれましても、お子様の成長、八幡浜高等学校の発展のために、一層のご支援と、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新入生の皆さんの、夢に向かう一步一步が、新しい校風作りの、清らかな息吹となりますことを心より願ひ、式辞いたします。

令和二年四月九日

愛媛県立八幡浜高等学校長

菊地 英明